

2023年6月11日 日本医師会 シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」

# 若手医師は医師会を必要としているか？

～ 臨床研修屋根瓦塾 KYOTO の取り組み ～

京都府医師会 理事

京都第二赤十字病院 消化器内科

堀田 祐馬

# 自己紹介 堀田祐馬

---

✓ 2008年 京都府立医科大学出身

✓ 専門領域

消化器内科 炎症性腸疾患

✓ 京都府医師会理事（令和3年6月～）

ワークライフバランス

臨床研修・教育関連

1

私と医師会との出会い

2

臨床研修屋根瓦塾の立ち上げと発展

3

若手医師は医師会に必要なのか？

# 私と医師会との出会い



(福知山市ホームページより)

2008年 4月  
市立福知山市民病院の  
研修医となった私

研修医同期は 1人

自分が正しく成長しているのか  
不安な研修生活

# 京都府北部の研修病院は点在している



# びわこ臨床研修ネットワークでの学び

びわこ臨床研修ネットワーク

HOME お問い合わせ

<http://www.biwa-ct.net>

概要 | 講習会・講演会 | 指導医の声 | 研修医の声 | 医療安全対策 | 評議員会 | 臨床研修リンク集

■ UPDATE

- R3年3月9日 概要ページを更新  
講習会・講演会ページを更新  
評議員会ページを更新
- R2年12月14日 講習会・講演会ページを更新
- R2年3月14日 概要ページを更新  
評議員会ページを更新
- H31年3月15日 概要ページを更新  
評議員会ページを更新
- H31年2月6日 講習会・講演会ページを更新
- H30年3月24日 概要ページを更新
- H30年3月20日 評議員会ページを更新
- H30年2月2日 講習会・講演会ページを更新
- H29年3月28日 概要ページを更新  
講習会・講演会ページを更新  
評議員会ページを更新
- H29年2月11日 講習会・講演会ページを更新

ようこそ、びわこ臨床研修ネットワークです。

このネットワークは新臨床研修制度の主旨に沿って、滋賀県下の病院での臨床研修の充実をはかり、地域医療に貢献することを目指しています。臨床研修に役立つ研究会・書籍などの情報をお寄せください。また貴施設での取り組みをご紹介ください。当ホームページで会員に案内させていただきます。

「有名研修病院の取り組みは、なかなかまねできない  
隣の病院の取り組みは、明日からまねできる」

# 隣の県の取り組みはまねできる

- ✓ 研修医の、研修医による、研修医のための勉強会
- ✓ どうやったらできる??
  - 院長より「メーカー主催禁止」「手弁当で」
  - 京都府医師会主催 の 研修医向け講演会  
「一度聞いてみたかった、この先生の この講義」にて  
医師会の重鎮の前で突如プレゼン
  - 京都府医師会勤務医部会 から 運営費を獲得

## 京都府北部臨床研修ネットワークの設立

# 京都府北部臨床研修ネットワークの開催と継続

2008年夏 第1回開催（福知山）  
京都府北部地域全体から28名の参加

今年復活予定！

回	年度	担当施設	講演内容
1	2008年夏	福知山	各病院での研修生活、症例発表会
2	2008年冬	綾部	小児科 大内一孝先生 神経内科 山田丈弘先生
3	2009年夏	舞鶴	井階友貴先生 「地域医療について」
4	2010年夏	福知山	野口善令先生 「臨床推論、診断学」
5	2011年夏	福知山	西田香織先生 「CTの読影」
6	2011年冬	南丹	太田凡先生 「救急 clinical pearl」
7	2012年9月	綾部	山脇正永先生 「Clinical reasoning」 手技ハンズオン
8	2013年9月	福知山	仲田和正先生 「Primary careにおける整形外科」
9	2014年2月	舞鶴	吉岡亮先生 「脳卒中を疑う患者に出会ったら」
10	2015年3月	与謝	安柄文先生 「E R型救急と小児救急」
11	2015年11月	南丹	山畑佳篤先生 「災害発生！あなたはどのようにする？」
12	2016年10月	与謝	武部弘太郎先生 「救急外来での喜怒哀楽」
13	2017年12月	福知山	長尾大志先生 「やさしい血ガス・レントゲン教室」
14	2018年12月	南丹	佐田竜一先生 「私の反省症例」
15	2019年12月	与謝	チーム対抗メディカルクイズ大会
16	2020年12月	福知山	川島篤志先生



1

私と医師会との出会い

2

臨床研修屋根瓦塾の立ち上げと発展

3

若手医師は医師会に必要なのか？

# 臨床研修屋根瓦塾の立ち上げと発展

---

- ✓ 「研修医のための研修と交流会」スタッフとして参加
  - 京都府内の病院からスタッフを募集
  - 「どこでも使える」症例クイズを準備、研修医が受講
  - 京都府から予算を獲得（行政との協働）
- ✓ 「臨床研修屋根瓦塾 KYOTO」に改称
  - ベテランから研修医までの屋根瓦形式の指導
  - 全国から研修医が受講するように

# 「臨床研修屋根瓦塾 KYOTO」の弱点と克服

## ✓ スタッフのリクルートの困難さ

屋根瓦塾へのモチベーション

教育レベルの質

背景の多様性の担保

経験値の蓄積

医師会の縦割りへの対応

京都府医師会 若手医師ワーキンググループの立ち上げ

# 京都府医師会 若手医師ワーキンググループとは

---

- ✓ 企画ごとに募集していた指導医を 半分固定
  - 質の担保、スムーズな運営
- ✓ 卒後 3～12年目で構成
  - 研修医と近く、多様な人材
- ✓ 医師会入会を必須としない
  - 部活のような雰囲気仲間を勧誘

## 医師会という **唯一無二の** 切り口

---

- ✓ 出身や所属にとらわれない 多様な視点
  - 自分についての「**ラベル**」を超える
  - そこでしか出会えない**仲間**
- ✓ 直接的には自分に利益のない後進教育
  - 自主的な **教育モチベーション**を高める

# 若手医師WG 4つの企画

春：新臨床研修医総合オリエンテーション

受講者約200名、アイスブレイキング担当

夏：臨床研修屋根瓦塾KYOTO

受講者40～50名、実務スタッフ担当（スタッフ20名中、約半数）

冬：研修医ワークショップ in KYOTO

受講者20～30名、アイスブレイキング+補佐（4～6名）

研修医向け広報誌「ARZT」編集

研修医インタビューやアンケート、リアルな生活を取材

# 春：新臨床研修医総合オリエンテーション

受講者約200名、アイスブレイキング担当

- ✓ 偉い先生方の話の合間にちょっと休憩



- ✓ 研修医のLINEグループ作成



→ 今年度から「KMA.com」サイトに登録！

## 夏：臨床研修屋根瓦塾KYOTO

受講者40～50名、実務スタッフ担当（スタッフ20名中、約半数）

- ✓ 研修医 4～5名で 1グループ、チーム対抗
- ✓ ブースを回って症例クイズ／手技習得
- ✓ 勉強 + 横のつながりが育つ
- ✓ 事前準備で指導医も深く学び、つながる



# 屋根瓦塾を支える人たち

【総監督】 上田 朋宏先生

京都府医師会理事

向かい風は高く翔べる！

【塾長】 小山 弘先生

京都医療センター総合内科部長

質の担保は任せなさい！

【実働部隊】 スタッフ

若手WG + 府内から新規

メールでやり取り。  
開催当日まで、何度も内容を  
ブラッシュアップ！

【裏方】 医師会スタッフ

広報・円滑な運営・採点

京都府

予算計上で支援

# 臨床研修屋根瓦塾の魂

医術は無償で伝承されるべき技術である

ヒポクラテスの誓い



(KMCCホームページより)

屋根瓦塾 塾長  
小山 弘 先生

# 練り上げられた 症例クイズ

臨床研修屋根瓦塾 KYOTO 2015 シナリオ⑧

78歳男性。

2日前前から悪心・嘔吐、腹痛、食欲不振があった。

本日になって、傾眠、会話が成り立たなくなり、家族が救急要請。

既往歴はとくになし。病院嫌い。飲酒なし。喫煙あり。

意識: JCS 20 / GCS E3V2M5 うめき声をあげている。

体温: 37.3℃、血圧: 135/66mmHg、心拍数: 86/分、呼吸数: 16/分、SpO2: 95%(室内気)。

結膜: 軽度蒼白。黄染なし。 瞳孔: 正円同大。対光反射は迅速。 明らかな麻痺なし。

口腔内は乾燥著明。皮膚ツルゴール低下。腋窩乾燥あり。

心音: 整。心雑音なし。 呼吸音: 右肺野で肺呼吸音低下。 腹部: 平坦・軟。圧痛なし。

Q1: 行うべき検査は??

<血液検査(ガス含む)>

pH: 7.35、PaO2: 76mmHg、

PaCO2: 51.2mmHg、HCO3<sup>-</sup>: 27.2mmol/L

Alb 2.6g/dl、AST: 70IU/L、ALT: 80IU/L、

LD: 229IU/L、BUN 26mg/dL、Cre 1.69mg/dL、

Na 139mEq/L、K 4.3mEq/L、Cl: 104mEq/L、

Ca 12.7mg/dl、CRP: 1.56mg/dL、Glu: 89mg/dL

WBC: 7500/ $\mu$ L、Hgb: 14.0g/dL、Plt: 24万/ $\mu$ L

<尿検査> 蛋白(-)、潜血(-)、白血球(-)、ケトン体(1+)

<腹部エコー> 明らかな異常なし。

<胸部 X 線>



Q2: どのよう対応をすべき??

Q3: 補正 Ca 値を計算せよ。

生理食塩水の急速投与、エルシトニン®1A 筋注、ゾメタ®1A 15分以上かけて点滴静注。

<頭部 CT> 明らかな異常なし。 <体幹部 CT> 肺病変以外に明らかな異常なし。

Q4: 追加検査として何を??

<血液検査> リン: 2.4mg/dL、intact-PTH: 7pg/ml、1,25-(OH)2D: 32pg/ml、PTHrP: 19.9pmol/L

Q5: 診断は??

1. DCB
2. AHG
3. FE

④アナフィラキシー D

1. CBA
2. HGF
3. ED

③細菌性髄膜炎 C

1. BAH
2. GFE
3. DC

②PID B

1. AHG
2. FED
3. CB

①緊急気道確保 A

1. EDC
2. BAH
3. GF

⑤プライマリケア外来 E

1. FED
2. CBA
3. HG

⑥SAH F

1. GFE
2. DCB
3. AH

⑦肺塞栓 G

1. HGF
2. EDC
3. BA

⑧悪性腫瘍＋意識障害: 高カルシウム血症 H

# 冬：研修医ワークショップ in KYOTO 【加藤塾】

受講者20～30名、アイスブレイキング+補佐（4～6名）

- ✓ 研修医 4～5名で 1グループ、チーム対抗
- ✓ 災害シミュレーション研修

加藤 陽一先生

熊本赤十字病院救急科

## 若手医師WG

災害シミュレーションは  
気持ちはむしろ受講生側

## 医師会スタッフ

加藤先生の司会に合わせて  
一糸乱れぬ問題配布！

緊張感あふれる 災害医療を体験する

小型バスとタンクローリーの  
衝突事故が発生

あなたは、救急隊員（3人）とともに  
派遣医師（1人）として現場に向かいます。

# 考えたことのないミッションに対峙する

## Mission ①

自分達、現場、傷病者の安全確保のために、  
確認すべき事柄を5分間で列挙せよ！

## Mission ②

日本語も英語も話せない外国人の訴えたいことを  
探り当て、それに対する対応を考えろ。

# 他院の研修医とチームで協力



# 研修医向け広報誌「Arzt」編集

研修医インタビューやアンケート、リアルな生活を取材

## 若手医師アンケート みんなのLife & Work Style

若手医師を対象にしたアンケート調査の後編は、「情報収集」について、同じ職場の同期や先輩がどんな媒体を活用しているのかが分るけれど、他院となると「結構ナゾ」という方も多いはず。今回のレポートで実態が明らか?!

アンケート実施 (男42名・女22名 計64名)

**Q 医学情報は主に何から得ますか? (複数回答可)**

医学情報アプリ	3名
医学雑誌	3名
その他	2名
医問サービス	6名
メールマガジン	6名
医学期刊, PubMedなど	17名
Up To Date	29名
教科書	44名
インターネット	33名
医師向けWeb, 雑誌付録	33名

**Q 携帯にダウンロードしている医学情報アプリは?**

MZPLUS	5名	Esporaates Medicals
MS	3名	dropboxで文庫共有
Up to date	3名	後援雑誌付録, 雑誌新マニユアル
医書.jp	3名	ヤフコエ
Arctas Facebook	3名	読書編ハンデック
medlink, vabiabody	3名	

**Q この1年間で教科書に費やした額は?**

2万円未満	4名	5万円以上	21名	1万円未満	2名
10万円以上	4名	1万円以上	3名	1万円未満	11名
15万円以上	6名	15万円以上	3名		
2万円以上	14名	2万円以上	4名		

書籍に加えてインターネットを利用している人が多いものの、電子書籍を購入する人は少ない様子。まずはインターネットで新しい情報や大まかな内容を確認し、書籍で詳しく調べていることが伺えます。よく利用する医学情報アプリやサイトはほぼつきがあるものの、(Up to date) (M3) (MZPLUS) が若干多い傾向。しかしコンテンツの特色や使い勝手などがあるため、用途・好みに合わせて使い分けるのがベターでしょう。全読ですが、日本経済新聞の調査(2009年実施)では、年収40万円以下の人の月間書籍購入費平均は1,914円、40万円~800万円の人は2,557円、800万円以上の人は2,910円と、読書量が年収に正比例する結果に、医師の読書量と比例しているのかもしれない。

2020年 **10月25日** 午前9時~12時 予定

京都府医師会館 3階大会議室 (JR二条駅下車 徒歩すぐ)

**7th シミュレーションゲーム**

臨床研修 患者をどう診る?

若手医師が作成した複数の症例シナリオに、全国の臨床研修医とチームを組んでチャレンジ!

参加されたい! 全国から臨床研修医が参加されます!

一般社団法人 京都府医師会  
〒604-8585 京都市中京区西ノ京東堀町6  
TEL.075-354-6104 FAX.075-354-6074  
http://www.kyoto-med.or.jp/

京都府医師会では本誌を定期的に発行しており、次号(10月)も発行予定です。掲載内容向上のために、本誌に関するご意見・ご要望をお寄せください! また、研修生・臨床研修医を募集しています。募集に関わってみたい先生がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

©Arzt 10月号「臨床」を閲覧する記事から本誌の著作権を無断で複製してはなりません。

## 研修医・若手医師のための情報誌「Arzt」

# Arzt Vol.10

研修医REAL INTERVIEW  
研修医1年目を終えて  
見てきたものとは?

研修医・若手医師のための情報誌「Arzt」  
2020年10月号  
編集人: 一般社団法人 京都府医師会 事務局 7F 707号室

一般社団法人 京都府医師会



# 若手医師WG関連の **新**企画

レクチャー動画作成



京都の有名指導医

この先生の話聞いてみたかった！

臨床研究・統計解析支援



学会内でのブース企画

研究立案から論文作成まで

# 京都府医師会 ワークライフバランス委員会 4つの企画

## 子育て医師の会

誰かのサクセスストーリー  
ではない、相談の会

## ワークライフバランス塾



ワークライフバランス塾 in 京都  
理想の医師生活を送る  
未来輝くプロジェクト

どうする!? 男性医師の育休

2023年  
3月19日(日)  
WEB開催 13~15時

全席無料  
「パパ育休一斉化」の機運を捉えよう

特別講演  
「長崎大学心臓血管外科における育休取得のこころみ」

## 子育てサポートセンター



勉強会、研修などに参加するため、保育が必要なとき

仕事で遅くなるため、子どもを預かって欲しいとき

用事があるときやリフレッシュをしたいとき

利用可能時間が増えて、ご利用いただきやすくなりました!

利用対象者	保育対象年齢	利用可能時間
子育て中の医師の方	生後6か月～小学6年生	8:00~21:00 ※1土曜日、日曜日、祝日、夏休み(8/15~8/16)、年末年始(12/29~1/4)

## 妊娠に際し職場のみんなで読むマニュアル

妊娠に際し



# 妊娠に際し

# 職場のみんな

# 読むマニュアル

## CONTENTS <https://ninshin-kyoto-ishikai.jp>

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 01 なぜ、今、このマニュアルなのか | 07 保育先の確保       |
| 02 現代の妊活           | 08 出産後の職場復帰     |
| 03 妊娠初～中期の諸問題      | 09 復帰後の働き方      |
| 04 妊娠後期、産前・産後休業    | 10 子育てで悩むとき     |
| 05 出産にまつわる注意点      | 11 受けられるサポートまとめ |
| 06 育児休業アップデート      |                 |

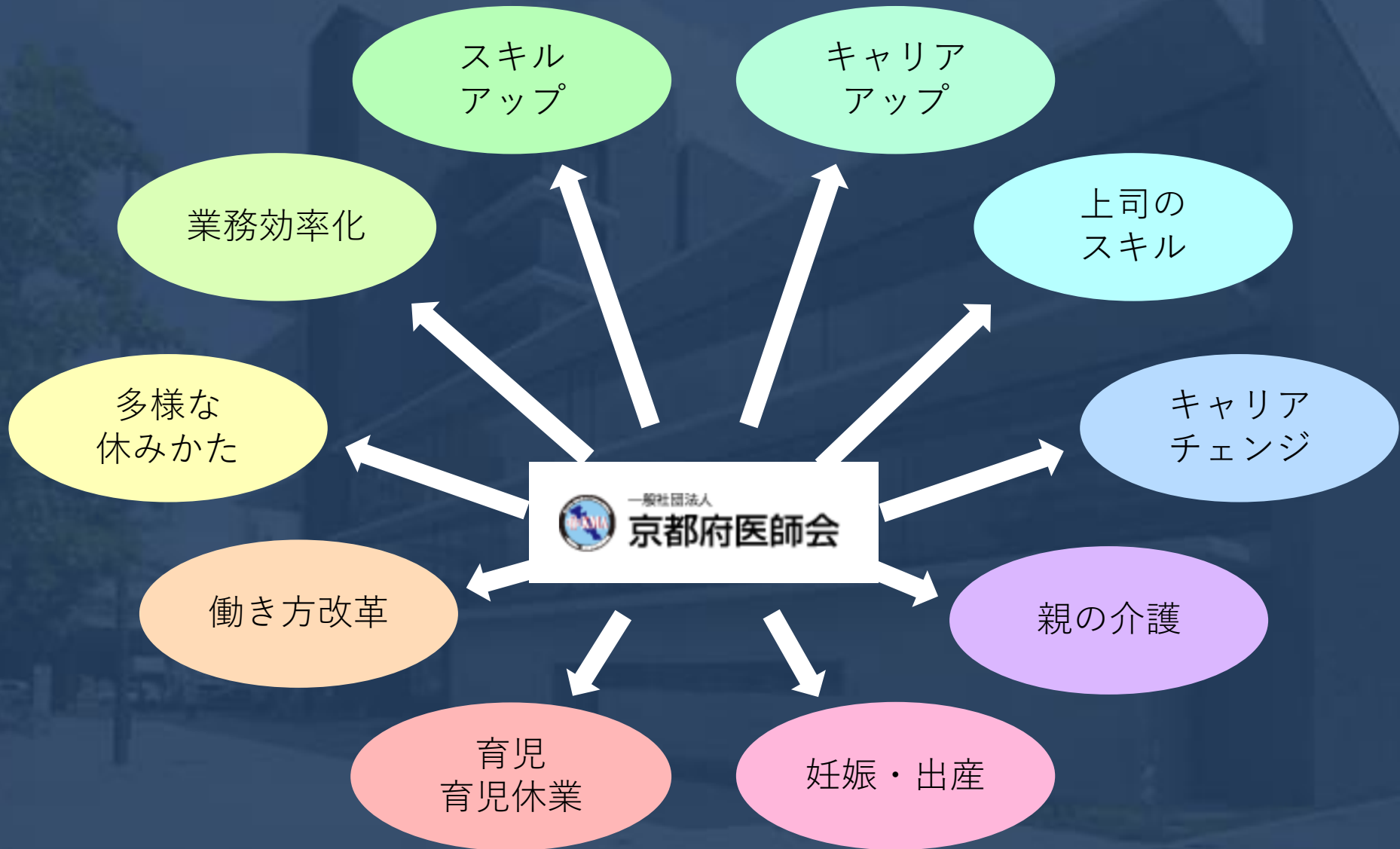


- ✓ 医師の妊娠・出産は「悩みポイント」が多い
- ✓ 多様な価値観の時代に、医師の世界が対応しきれていない
- ✓ 情報の共有によって状況を改善したい

妊娠に際し



# 京都府医師会 WLB委員会 全方位戦略



3

若手医師は医師会に **必要なのか？**

---

Young Doctors × Medical Association

# 若手医師は医師会に「なぜ」必要なのか？

---

① 自ら生まれ変わるエネルギーと覚悟が必要

現状維持が目的では「オワコン」

② 医師会にしかできないリーダー育成がある

素晴らしい指導医と若手とをマッチさせる

次世代を担う人材にチャンスを用意できる

広く横断的な視野を持つ立場が人をつくる

# 若手医師に つながる チャンネル としての「教育」

- ✓ まず与えなければ 誰もついてこない時代
- ✓ 勤務医・若手医師の入会促進という課題  
魅力的な制度があるが、入り口が見つからない  
医師賠償責任保険や医師年金のアピール



医師会にしか作れない切り口がある

いかに仲間になるか、という視点



A photograph of a modern, multi-story building with a blue tint overlay. The building has a complex, angular design with several levels of cantilevered balconies or overhangs. The text is centered over the middle of the image.

ご清聴 ありがとうございます